



rudje en rudje rosa

© 2008 100% 100% 100%

R18
成人向



アレ?

……ああ……でもアレは
ちょっと欲しいわね



ええ 邪魔になるだけ
だからいらさない

なあ 荷物は
これだけでいいの?



たまには
俺の話
聞いてくれよ……

じゃあ私は
お風呂入って来る



今日はもう遅いし
明日買いに行くわね
費用はあなた持ちね

だからあれは
ぺんの餌……



公園で売ってた
魚の形したやつたし
割と美味しかったし
土産にするわ

ぺいや
ぺんの餌……



よくない
慣れると人前でも
ポロツと言っちゃう
ものだから

ご、ごめん……
でも誰も居ない
からいいだろ

ジャクリ!

あ そうだ
ミュール



ミュールって
いい名前だと思うよ
俺は好きだな

……うん……ごめん
気をつける
でも……

……



ああそうだって
これ銭別だから
ルカ達から

昼に貰ったの
渡し忘れてた

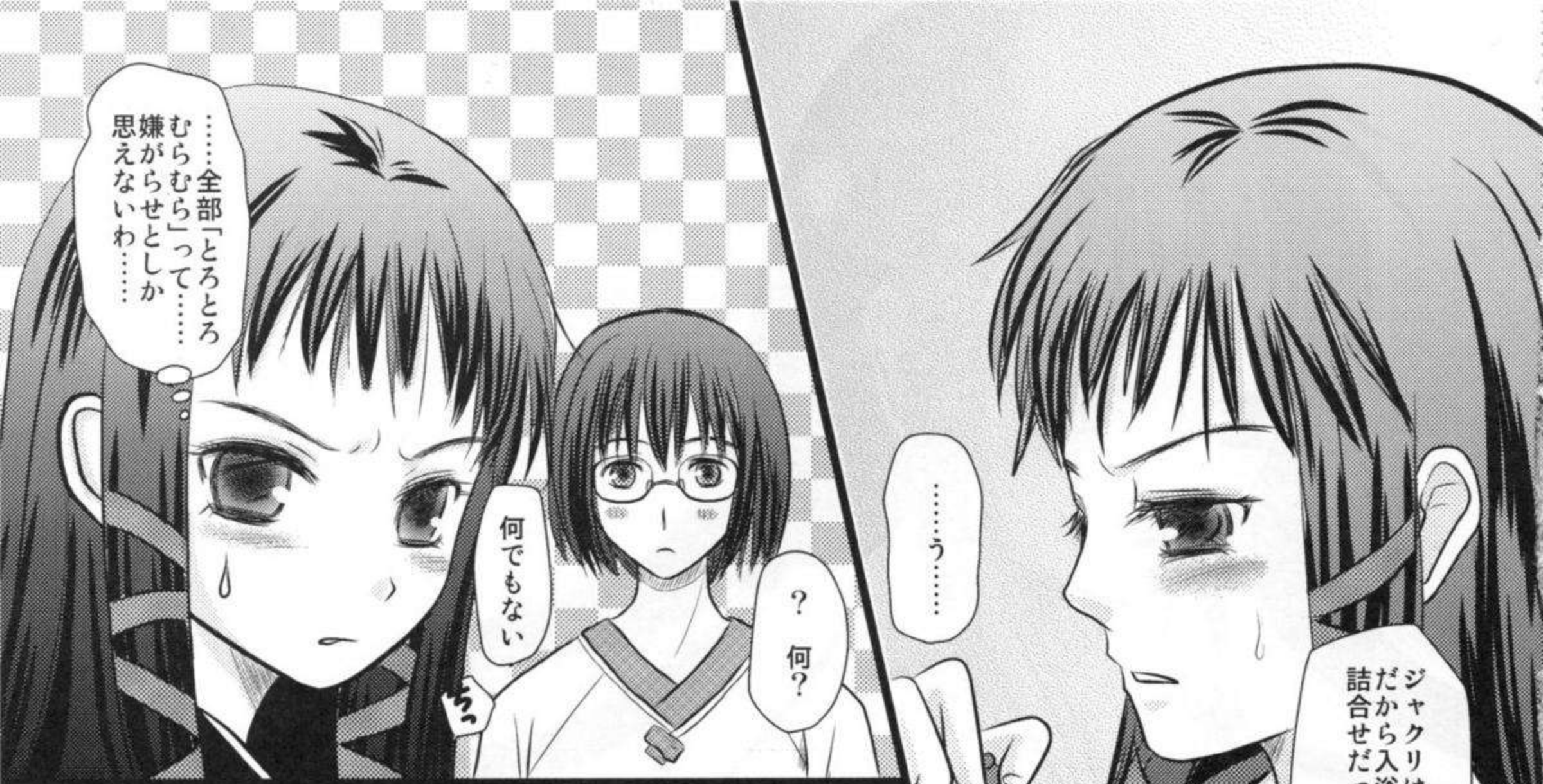
ふーん
わざわざどうも



……エオリアの塔の
世界では何百年も
前から人間が忌み嫌う
最悪な名よ

で?何か用が
あって呼び止め
たんでしよう?

……



……全部「とろとろ
むらむら」って……
嫌がらせとしか
思えないわ……

何でもない

? 何?

……う……

ジャクリは風呂好き
だから入浴剤の
詰合せだって言ってたぞ



ふう……温まるのは
いいけど……相変わらず
何とも言えない気分
なるお湯ね……

これもシュレリア達に
土産で持って行って
やろう……どんな
反応するか楽しみだわ



エオリアの塔……
ソル・シエール……か……

人間……ニンゲン……



ミユールって
いい名前だと思うよ

俺は好きだな

クロア……



……はっ……！
何でいきなりっ……

何で……

ひとつの明日をふたり分け合おう

Nnoi fedyya , murfan arsyeyor

•••••

何で私の「ユコロ」は
クロアに本当の名前を
教えたんだろう……



うーん

全部……この
お湯のせいだ……
まったく……



ミュール!?

!?

ぐぼあつ!?

あとでジャクリに
聞いてみ



お金はやっぱり
世界が違うと
使えないんだろうか……



風呂で寝たのか？
命に関わるんだから
気をつけてくれよ……

げほっ……げほっ……
へ……平気……
ちよっと居眠り……
げほっ……

せーせー



げほっげほっ……
ジ……ジャクっ……
げほっ!!

大丈夫か!?!
お湯飲まなかったか!?!





……ふーん……
やっぱりクローシェ
みたいに大きい方が
いいのね



……ふん
照れてるの？

い……いや……



お風呂なんだから
お着てるあなたの方
がおかしいのよ

あーもう！
だから大きさは
関係ないって前も
言っただろ！
頼むからあんまり
堂々としないでくれ！



……なあ
ところでミュ……
ジャクリ

何

このお湯
妙にトロトロ
してないか？



俺は溺れた誰かさんを
救助したいわば被害者だ
し

間抜けね





どうしよう…
熱くて…ぼーっとして…
頭がうまく働かない…

ん…



…ジ…
ジャクリ…?

何…や…つて
るんだろう…私…



ミュール…

………

の…のほせてる
みたいだから…
もう出よう…な?

…うん…



…何を?

…ミュール…
怒ってるか…?

ミュール…
ジャクリ…

…ミュールでいいわ



それに何度も
言ってるけど
見られて恥かしい
体じゃないわ



その…裸見たり…
キ…キスしたり…

………
キスは私の
方からだし



お…お前が気に
してないなら
俺の問題だ…



じゃあどうい
う問題なの?

そう言う問題
じゃなくて



……お前本当に
意地悪だな……



可愛い幼馴染と
付き合ってたって
割には初心ね

別に俺とルカは
そんな事……っ
っーか服着ろよ……

そんな事って
どんな事かしら



もしも私がいつか大陸を
紡ぐことになったとしても
その時にあなたが邪魔な
存在だったら……

私はためらいなく
あなたを殺すかも
知れないわよ



……お気楽ね……



ふふ……逃げるなら
今のうちよ

このままエオリアの塔の
世界に連れて行かれて
その先どうなるかも
分からないんだし

逃げない

いつかお前が創る世界を
見てみたいからな





うん
分かってるよ
ちゃんと護るから

っ…あ…あなたは単に護衛…
いいえただの喋る盾よ!
私一人でも十分強いけど
いざと言う時に詩の
邪魔されないようにっ!



信じられない人間の
俺と一緒に連れて
行ってくれるなんて
優しいなあと思って



ん?

ね…ねえ
クロア…

さて…そろそろ寝るか
明日は公園の方で
買い物して…



お手柔らかに頼むよ

す…捨てられないように
せいぜい頑張る事ね



私は大昔から
これがデフォルトなの!
服着てる方が珍しいの!!

そうか?お前
服着てないからだろ

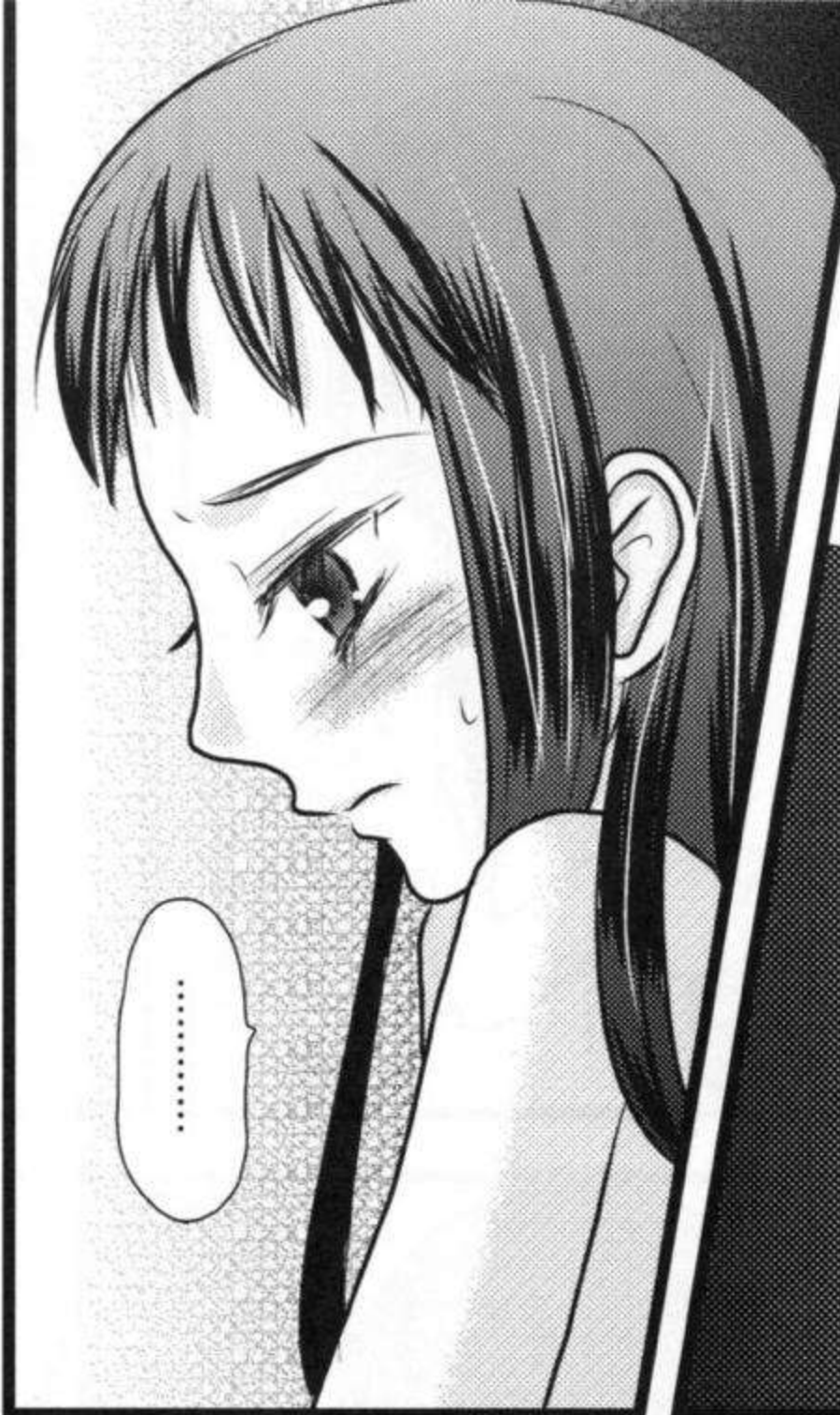


き…今日は寒くない?



そ…そうだな
確かに寒いかな

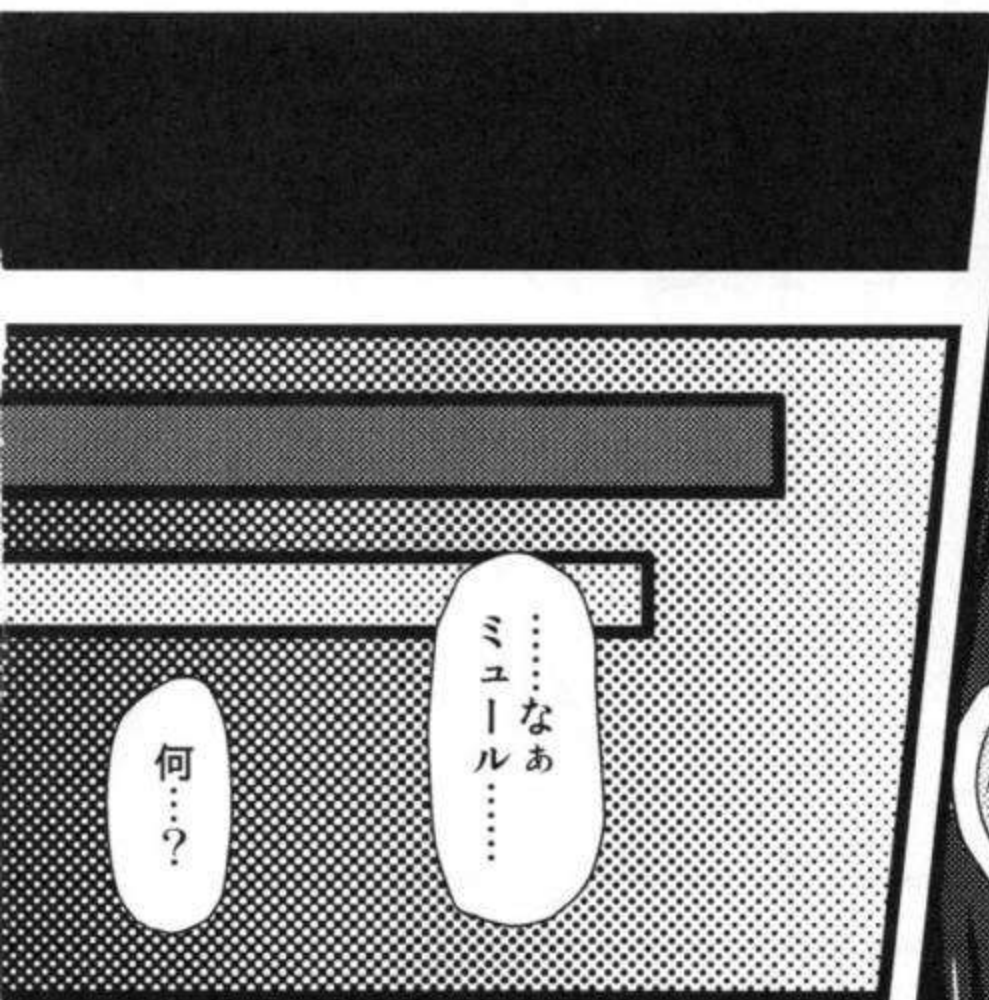
あー……



……



だから寒いなら
服着……



……なあ
ミユール……

何…?



あんまり密着されると
落ち着かないんだけど…

重いかしら？



…あなたが
こっちに来るのよ

……こっち来るか？

はいはい

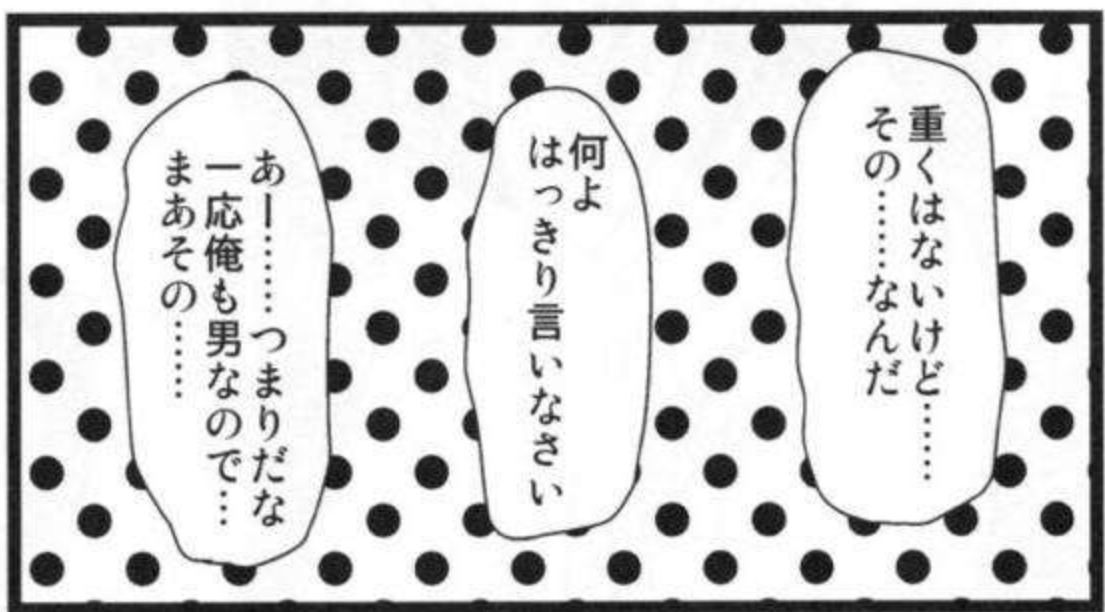


私の魅力に抗えないと
言いたいのかしら？

まあ…意識すると
そんな感じかな…

直訳すると
抱きたいって事ね？

…はい…



重くはないけど…
その…なんだ

何よ
はつきり言いなさい

あー…つまりだな
一応俺も男なので…
まあその…



私は…別に
いいわよ…

…クロアが
したいなら



あーもう！
いちいちうるさい男ね！
私がいって言うてるの！
あなたはへたれだしオボンヌはたのお馬鹿だし
人間の男にまともなのは居ないのかしら！
と言っても男のレビューアイルは存在しないけど！

んっ…
オボンヌって誰…

たまらなく憎くて…たまらなく愛しい
「ニンゲン」と言う生命



い…いいのか…？
本当に…

…いいって
言ってるでしょ…！

俺はいいけど…
一応お前も女の子だし
よく考えた方が…



世界中に溢れる
たくさんさんの生命の中で二人

んっ…
う…

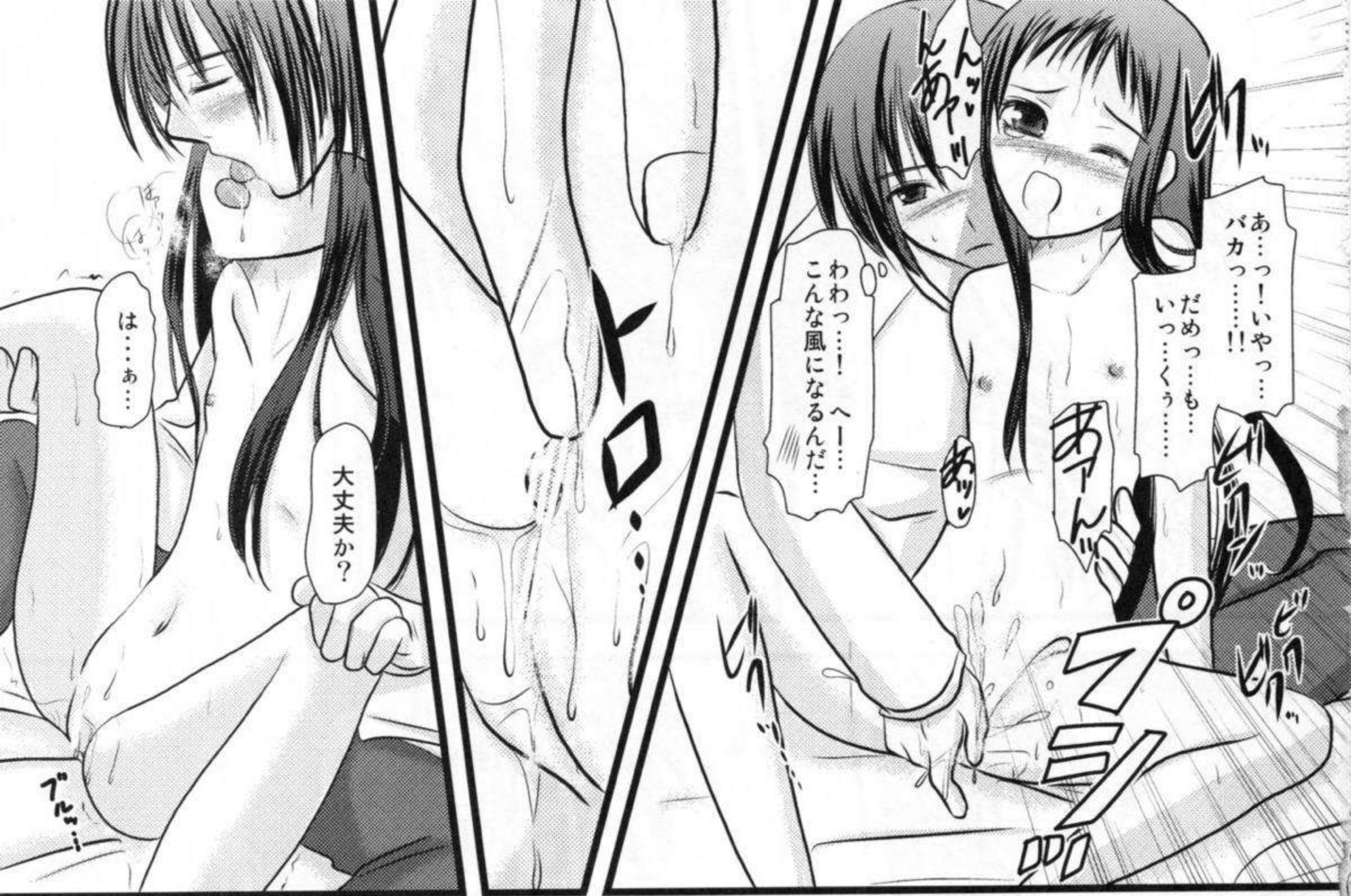
一つの想いを
一つの明日を
一緒に分け合おうって
詩ってくれた人…

私の犯した大罪は消えないけれど

あなたが居てくれたら
永遠に続く懺悔と贖罪の道も
前を向いて歩いて歩いていける気がするよ



あなたが居てくれたら...
人間も...レーヴァテイルも...
全ての生命が幸せに暮らせる
新しい世界を私にも作れる気がするよ



は...あ...

大丈夫か?

わわっ...! へー...
こんな風になるんだ...

あ...っ! いやっ...
バカっ...!!
だめっ...も...
いっ...くう...



ちゅっ...と待っ...
うあっ...

っ...ミユール...



んふ...ダメよ...
どんな反応するのか
興味あるし...

それに...さっき私が
もうやだって言ったのに
やめてくれなかったし
...お返しよ

そ...そこまでしなくて
いいからっ...



ハチヤツ

わっ……
やあつ……!!



んぶっ!?



うっ……
うあつ……!



んっ

ちゅちゅ

んっ……

んぐっ



んん



あ……わ
ごめん……

……



……

……ま……だから
これからも退屈
しないだろうけどな



本っ当……お前初めて
会った時からだけど
無茶苦茶する奴だな

そう?!



フキフキ

いい経験出来て
良かったじゃない

うえ……の……
飲んじまった……



っ...う... ミュールっ...

んっ...んくっ...

ふあっ... く...クロア... クロアあ...っ

ズンズン
ズンズン
ズンズン



い...痛いかな?

う...んっ... 凄く痛いっ...

ごめん 我慢してくれ

うう... だ... 聞かないでよ...



ん...

不思議な気持ち

すごく痛くて苦しいのに...こんなに満たされている私

ズンッ

ズンッ



ヒュムノス
詩が体中を満たしていき
感覚とは全然違うけれど

あっ...クロアっ...!

うっ...くう...!!

あ

あ

愛しいあなたと同時時を
分け合えるこの幸せ



あー

あ
あんや...
カクカク
カクカク

おーいミユール
早くしないとゆっくり
買い物する時間なくなるぞ

着替え終わったか?



……いつでも
出掛けられるわよ

え……あ……

な……何よ……
あなたこの服好き
なんじゃないの？

や……何かビックリした
自主的に着るとは
思わなかったから……

あっちの世界に行ったら
もうこんな恥かしいの絶対
着てやらないんだから……
最後のサービスよ



じゃあもう一つサービスで
ニッコリ笑ってみせてくれよ

いやよ 顔の筋肉
つると痛いんだから



コスプレ
CSの中のお前は
あんなに良い笑顔
してたのになあ……

またそれを言う！
ほい加減に忘れなさい！

これで買い物は
全部ね



なあ あつちの世界には
ペペンって居ないのか？

ええ
でもここに居ない
生き物が居るわ

ふーん
楽しみだな



こんなにペペンの餌
買ってどうするんだよ……

餌じゃない
おやつとお土産

形は可愛いけどさ……
ハッキリ言って貰って
困る味だと思うぞ



……ああ
もう決めたからな

俺はミュールが新世界を
紡ぐ姿をミュールの隣に
立って見ていたい



……ねえ……もう一度聞く
けど本当に私と一緒に
行くの？

せっかく大陸が
紡がれたのに

御子達だってあなたに
残って欲しいと思ってるわ



お前が心の底から
笑ってる姿を

一番近くで
見てみたいんだ



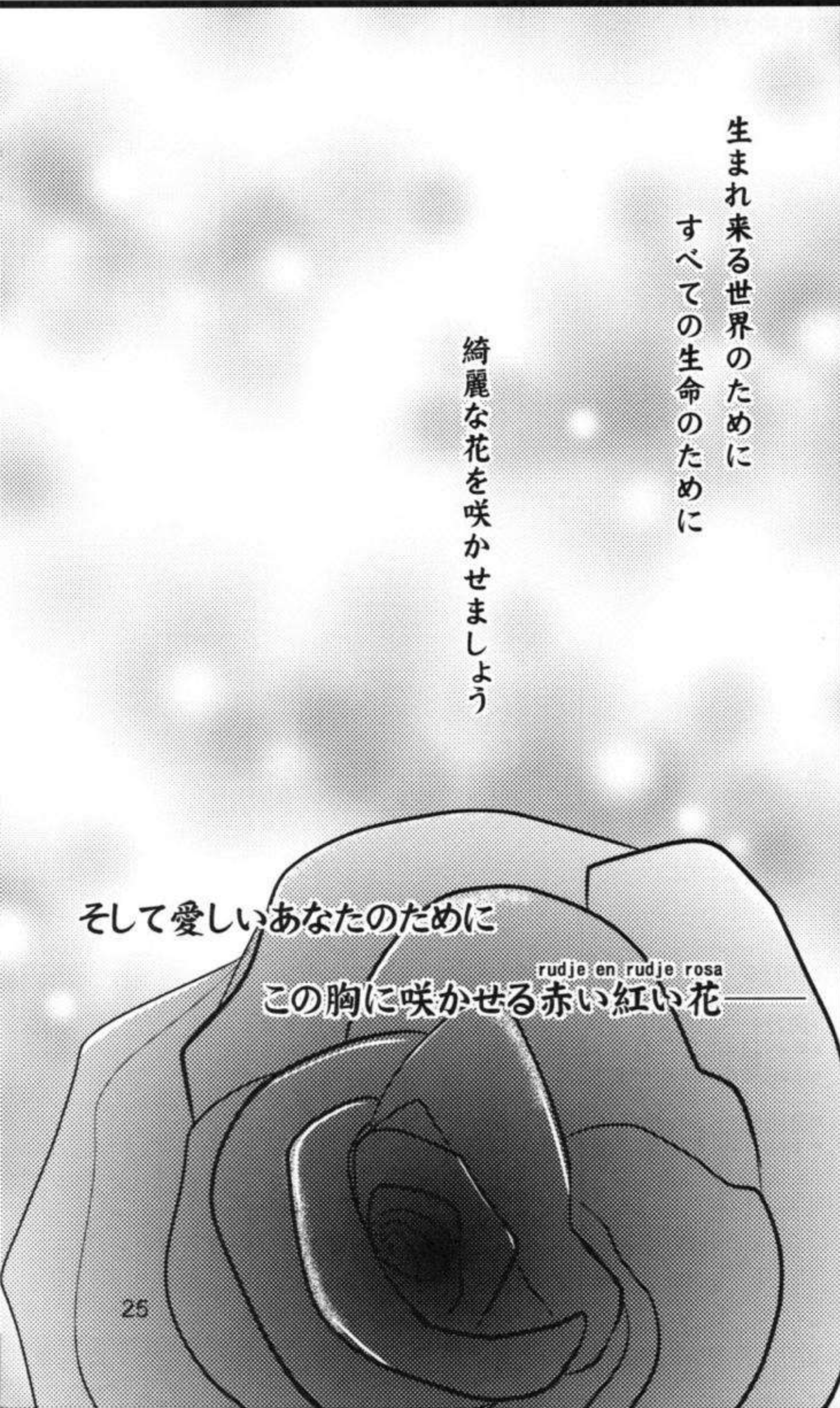
私たちの世界では
初めて最後の
プレゼント

旅の記念の一つと
思ってくれればいいよ



ユサージュ こう言うの
好みじゃないだろうけど
綺麗だったから

ちよ…何コレ
造花？



生まれ来る世界のために

すべての生命のために

綺麗な花を咲かせましょう

そして愛しいあなたのために

この胸に咲かせる赤い紅い花
rudje en rudje rosa



…プレゼントなら…
もう詩をくれたじゃない…

無垢な小鳥の白い羽に
鮮やかな花を咲かせましょう



・若くてヒチヒチした女顔
・エリート騎士
・家事能力有り
・おかつば

アヤネと
被ります!



rudje en rudje rosa

発行 イヌドリルロリータエンジン(犬森サヤカ)
発行日 2007.12.31
印刷所 フリーク

連絡先 sayaka@inudrill.com
* web * <http://www.inudrill.com/>

転載・複製・web上へのアップロード等はしないで下さい

rudje en rudje rosa

© 2000 Inudrill Lolita Engine



Inudrill Lolita Engine